

研究者海外派遣援助 成果報告書

記入日 20XX 年 4 月 1 日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関の名称は、大学院の
研究科、研究所まで記載
※申請時から変更がある場合は
下行に申請当時の機関名称を
() 書きのこと

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 教授
(申請時：□□□大学▽▽学科 准教授)

派遣研究者 財団 太郎 (印)

貴財団による研究者海外派遣援助の研究活動成果について、下記のとおり報告します。

※各記入欄は、字数制限がある場合はそれを超えない範囲で行数を増減のこと
フォントは、MS明朝、英文・Century 10pt (研究課題のみ12pt)

研究課題： ※申請時の研究課題を太字12ptで記入

(英語) ※英文も併記

派遣研究者： 財団 太郎 ※太字

(英語) Taro Zaidan ※姓はすべて大文字

所属機関・職名： ○○○大学大学院△△△研究科 教授 ※太字

(英語) Professor, Graduate school of … ○○○University

派遣先： ●●国・■●大学 ▲▲教授

(英語) Professor, Graduate school of … ○○○University

※申請時の相手側受入れ研究機関及び研究者を記載

※複数の場合は全て記載

派遣期間： 20XX年4月1日～20XX年3月31日(365日間)

※現地時間ではなく、日本の出入国日を記載

援助額： 395万円 ※採択決定額を記載

日程：

※日にち、訪問先、活動内容等を具体的に記載

Summary：(英文200字以内)

目的：

※申請時の研究目的を記載

海外における研究活動状況：（和文2,000字以内）

※海外において行った研究の概要、海外における研究の動向などを主として記載

※図版を使用される場合、**図、写真、表等合わせて5点以内**

（図版は財団年報に掲載する際は全てモノクロ）

※書式に関する留意事項

a. 段落

段落先頭は一字下げ

b. 句読点

文末に打つ句点は「。」、文中に打つ読点は原則として「、」で表記

ただし、本文中あるいは尾注において外国語、外国文献等を記載する場合は読点の代わりにコンマ（,）を使用

c. 図表

必ずタイトルをつけ、図と表ごとに付番のこと

番号とタイトルは、ゴシック体で記載

d. 参考文献等

(1), (2), (3)・・・として記載

発表論文名，著書名，講演項目：（予定を含む、必要に応じて増減のこと）

※本派遣によって発表したもの

発表予定のものは末尾に（発表予定）とし、該当がない場合は「なし」と記載

(1) 財団太郎「●●の研究－▲▲－」『◎◎レポート』○○出版、20XX年10月

(2) 財団太郎、山田次郎「●●の研究－▲▲－」『月刊■ ■』XX号、20XX年5月（掲載予定）

以上

※(短期) (長期) シートが分かれているので該当する方を選択のこと

研究者海外派遣（短期）援助 会計報告書

記入例

記入日 2020年7月20日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 教授

氏 名 財団 太郎

会計報告は下記のとおりです。

1. 研究課題

※申請時の研究課題を記入

複数回に分けて渡航した場合
「2. 派遣期間」の行をコピーして追記
日数は自動計算されるので、最終行の右
の欄に総計を追加記入のこと

	日本出国日		日本入国日	
2. 申請時派遣期間	2020/4/1	～	2020/6/30	(91日間)
実際の派遣期間	2020/4/1	～	2020/4/20	(20日間)
	2020/5/10	～	2020/6/30	(52日間)
				(総計72日間)

3. 当財団からの援助金額

166 万円

採択決定額を記入

4. 会計報告

支出実績合計

137.5 万円

※内訳は5のとおり

5. 使途内訳

※使途内訳より自動入力

費用項目	支出実績額			使途
	1日当たり	滞在日数	金額	
旅費 ・ 渡航費 ・ 渡航先での移動費			29.5万円	旅費に係る移動経路： ・ 成田⇄ボストン（往復） ・ ○○大学との研究打合せ
滞在費（短期）	1.5万円	72日	108.0万円	宿泊した施設名： ○○大学 ゲストハウス
援助金額 166万円		支出実績合計	137.5万円	※プラスは余剰金 +28.5万円

援助金額と申請時日数より
自動算出

実際の派遣日数を入力

余剰金がある場合、事務局に報告の上、
本報告書提出前に返戻手続きを完了のこと

金返戻日（発生した場合のみ）： 2020年7月10日

※(短期) (長期) シートが分かれているので該当する方を選択のこと

研究者海外派遣（長期）援助 会計報告書

記入例

記入日 2021年4月25日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 助教

氏名 財団 太郎

会計報告は下記のとおりです。

1. 研究課題

※申請時の研究課題を記入

複数回に分けて渡航した場合
「2. 派遣期間」の行をコピーして追記
日数は自動計算されるので、最終行の右
の欄に総計を追加記入のこと

	日本出国日		日本入国日	
2. 申請時派遣期間	2020/4/1	～	2021/3/31	(365日間)
実際の派遣期間	2020/4/1	～	2020/7/31	(122日間)
	2020/8/10	～	2021/3/31	(234日間)
				(総計356日間)

3. 当財団からの援助金額

385 万円

採択決定額を記入

4. 会計報告

支出実績合計

376 万円

※内訳は5のとおり

5. 使途内訳

※使途内訳より自動入力

費用項目	支出実績額			使途
	1日当たり	滞在日数	金額	
旅費 ・渡航費			20万円	旅費に係る移動経路： ・成田⇄ボストン（往復）
滞在費（長期）	1万円	356日	356万円	宿泊した施設名： ○○大学 ゲストハウス
援助金額 385万円		支出実績合計	376万円	※プラスは余剰金 +9万円

援助金額と申請時日数より
自動算出

実際の派遣日数を入力

余剰金がある場合、事務局に報告の上、
本報告書提出前に返戻手続きを完了のこと

金返戻日（発生した場合のみ）： 2021年4月10日